

会派行政視察報告書

平成30年 11月 2日

周南市議会議長 小林 雄二 殿

周南市議会 公明党

報告者 相本 政利

平成30年10月28日(日)から10月31日(水)まで、会派公明党で下記内容の事項調査として青森県八戸市・青森県五所川原市・宮城県塩釜市に出張いたしましたので、その概要を報告いたします。

－記－

1. 日 時 平成30年10月28日(日)～10月31日(水) 3泊4日

・視察先	10月29日(月)	青森県八戸市
	10月30日(火)	青森県五所川原市
	10月31日(水)	宮城県塩釜市

2. 出張者 (議員) 金子優子、 遠藤伸一、 相本政利
(刷新クラブ) 田中和未、 田村隆嘉、 得重謙二

3. 内 容

- ・八戸市・・・・八戸ポータルミュージアムについて
- ・五所川原市・・・・市民提案型事業について
- ・塩釜市・・・・魚市場の整備・運営について

※日程詳細～別紙報告書及び別添資料のとおり

周南市議会 刷新クラブ・公明党

行政視察日程表

期日	時間	内容
10/28 (日)	7:55~12:13 12:44~15:35	徳山一東京 のぞみ 6号 東京一八戸 はやぶさ 55号 (宿泊) グランドサンピア八戸 TEL0178-23-5151
10/29 (月)	9:00~11:00	八戸市議会事務局 TEL (0178) 43-2145 担当 オガサワラ様 〒031-8686 青森県八戸市内丸 1-1-1 「八戸ポータルミュージアムについて」 ※1人 1000円の負担金を当日現地をお願いいたします 視察研修会場は「ハッチ」です 「ハッチ」の駐車場にいかに用駐車場確保、オガサワラ様出迎え (宿泊) ホテルサンルート五所川原 TEL0173-34-8811
10/30 (火)	9:00~10:30 14:38~16:29 16:48~17:15 8:45~	五所川原市議会事務局 TEL 0173-35-2114 〒037-8686 青森県五所川原市字布屋町 41 番地 1 「市民提案型事業について」 担当 山本次長様 新青森一仙台 はやぶさ 28号 仙台一西塩釜 仙石線 (宿泊) ホテルグランドパレス塩釜 TEL022-367-3111 ※ホテルにお迎え 公用車2台
10/31 (水)	9:00~10:30 11:52~12:17 12:44~14:48 15:10~19:25	塩竈市議会事務局 TEL (022) 355-6792 〒985-8501 宮城県塩竈市旭町 1-1 「魚市場の整備、運営について」 担当 平山様 ※行政視察研修 会場は魚市場です。 ※初めと終わりの代表挨拶と 質疑の進行をお願いします。 ※(場所にもよりますが) 昼食場所まで送迎も可 西塩釜一仙台 仙台一東京 やまびこ 142号 東京一徳山 のぞみ 47号

周南市議会 公明党会派視察「」程表 平成30年10月28日(日)～31日(水)

<p>10/28 (日)</p>	<p>新幹線のぞみ6号 徳山 7:55発 12:13着 12:44発 東京 15:35着 はやぶさ55号 八戸 15:35着 タクシー ホテル 15:50着</p> <p>「集合時間：徳山駅新幹線ホーム内売店横に7時40分」</p>	<p>移動日</p>
<p>10/29 (月)</p>	<p>レンタカー ホテル 8:40発 9:00～10:30 八戸市役所 レンタカー ホテル 16:00着</p>	<p>八戸ターミナルについて</p>
<p>10/30 (火)</p>	<p>レンタカー ホテル 8:40発 9:00～10:30 五所川原市役所 レンタカー 新青森 14:38発 16:29着 16:48発 仙石線 西塩釜 17:15着 タクシー ホテル 17:30着 はやぶさ28号 仙台</p>	<p>市民提案型事業について</p>
<p>10/31 (水)</p>	<p>タクシー ホテル 8:40発 9:00～10:30 塩釜市役所 タクシー 西塩釜 12:54発 13:20着 13:44発 新幹線のぞみ47号 やまびこ142号 15:48着 16:10発 東京 20:25着 徳山 タクシー ホテル 17:30着 西塩釜 12:54発 13:20着 13:44発 仙石線 仙台</p>	<p>魚市場の整備・運営について</p>
<p>10/28の宿泊</p>	<p>グラントサンピア八戸 〒039-1111青森県八戸市東白山台1丁目1-1 TEL:0178-23-5151</p>	
<p>10/29の宿泊</p>	<p>ホテルサンルート五所川原 〒037-0053青森県五所川原市布屋町25 TEL:0173-34-8811</p>	
<p>10/30の宿泊</p>	<p>ホテルグランドパレス塩釜 〒985-0021宮城県塩釜市尾島町3-5 TEL:022-367-3111</p>	

視察報告書

《青森県八戸市》

◎視察日～10月29日（月） 午前9時00分～10時30分

《八戸市の概要》

1. 八戸市は、人口約23万人、青森県南東部に位置する県内第2の都市。
2. 東北新幹線や東北縦貫自動車総八戸線、八戸港、三沢空港、本州と北海道を結ぶフェリー等、北東北における陸・海・空の交通結節点となっている。
3. 県内最多の南圏人口約63.4万人を擁し、岩手県北も含めた広域商業を担う。

本市は、佐賀県の西北部に位置し総面積は487.5km²（全県比20.0%）、農林水産業をはじめとする産業や伝統的な地域文化が育ち、優れた観光地としても発展してきた。

【八戸ポータルミュージアム「はっち」について】

1. はっち建設の背景・・・中心市街地の衰退
 - ①歩行者通行量の減少・・・平成に入って大幅に減少、特に日曜日の落ち込みは激しく20年間で3分の1に。
 - ②商業機能の低下・・・小売業年間販売額の減少（平成3年比で43%）商業地としての魅力や求心力低下。更には空き店舗、空き地も増加。
 - ③平成20年7月9日に「八戸市中心市街地活性化基本計画」策定・・・計画期間は平成20年度から24年度で、はっち建設や借り上げ市営住宅整備事業等47の事業を登載。

2. はっちの概要

- ①施設の概要・・・八戸ポータルミュージアム「はっち」は、このまちらしく輝くために、地域の資源を大事に思いながら、まちの新しい魅力を創り出すところ。

敷地面積：3,387 平方メートル 階数：地上 5 階

開館時間：9時から21時 休館日：毎月第2火曜日

- ②目的・・・当初は、山車会館。今は、市民・観光客用の複合施設で中心市街地の活性化⇒八戸市全体の活性化へ。

3. はっちの事業

- ①会所場づくり・・・「憩いの場」「ふらり立ち寄る」「情報を手に入れる」「子育て世代の交流」等

- ②貸館事業・・・「ピアにコンサート」「国際交流フェスタ」「ギャラリー展示」「料理教室」等

- ③自主事業・・・地域資源を大事に思いながら、新しい魅力を創り出すこと。

- 1) 中心市街地の賑わい形成
- 2) 文化系芸術の振興
- 3) ものづくりの振興
- 4) 観光振興

4. はっちの効果

①開館1年後 (2012/2/11)	開館2年後 (2013/5/15)
来館者・・・88万8,888人	200万人達成
通行量・・・中心市街地13%増	33%増
新規事務所・・・23事業所開設	50事業所開設

- ②多くのイベントを開催し、当初の入館想定数65万に対して
H23年度・・・85万人 H24年度・・・89万人

H25 年度・・・96 万人 H26 年度・・・98 万人

H27 年度・・・95 万人 H28 年度・・・94 万人

好況を維持している。

④平成25年度文化庁長官表彰を受彰

⑤平成28年度地域創造大賞を受彰

【所感】

平成20年7月9日に中心市街地の衰退に歯止めをかけようとして「八戸市中心市街地活性化基本計画」策定。まちらしく輝くために、地域の資源を大事に想いながら、まちの新しい魅力を創り出す。をコンセプトとして、はっち建設や借り上げ市営住宅整備事業等47の事業を開始。主に自主事業「地域資源を大事に想いながら、新しい魅力を創り出す」1) 中心市街地の賑わい形成2) 文化系芸術の振興3) ものづくりの振興4) 観光振興はどれも魅力的な事業であった。実際見学させて頂いたが、イベント開催時ではなかったもので賑わいとしての効果は少し疑問を感じた。施設運営組織は24名で、内、10名が正職員との事で組織体制もしっかりされ今後の賑わい創出を期待したい。

《 青森県五所川原市 》

◎視察日～10月30日（火）午前9時00分～10時30分

◎応対・説明者～五所川原市議会

五所川原市財政部企画課課長

鎌田 寿

五所川原市議会事務局主任

松本 裕也

《五所川原市の概要》

1. 位置・地勢

・当市は、津軽平野のほぼ中央に位置する旧五所川原市及び旧金木町と旧市浦村の3市町村が合併し平成17年3月28日に誕生。

・気候は年平均気温が約10℃前後で典型的な日本海型気候で、夏は比較的温暖であるが、冬期間は強い北西季節風と除雪が特色で、時折、地吹雪が発生し、冬期間における地域住民の生活に影響を及ぼしている。

・津軽三味線発祥の地。作家太宰治の生家「斜陽館」等の歴史文化資源を擁し、農林水産業を基幹産業とする豊かな自然に恵まれた田園都市である。

・人口は、55,277人（合併当初は、64,000人）

【市民提案型事業について】

1. 事業概要

①制度概要～市民団体の活動を支援する補助金制度

②目指す効果～市民協働のまちづくりの推進

・多様なまちづくり主体の掘り起こし

③「制度」（2つの補助メニュー）

1) はじめの一步型～設立当初の団体に比較的小規模事業で

《 宮城県塩釜市 》

◎視察日～10月31日（水）午前9時00分～10時30分

◎対応・説明者～塩釜市議会

塩釜市産業環境部振興課

魚市場管理事務所所長

森 収

塩釜市議会事務局長

鈴木 康則

《塩釜市魚市場の概要》

○東日本大震災で被害を受けた魚市場。

○平成25年度から建て替え工事を進め、これまでに荷さばき所の東棟、魚食普及スタジオなどが入る中央棟、南棟が完成し順次供用を開始。

○平成27年10月25日に「塩釜市魚市場」が完成。安心、安全な魚を提供するだけでなく、市民や観光客が気軽に足を運べる施設となる。

○以下、事業説明メモ

1. 事業費用は、復興交付金＝121億円

内訳、水産庁補助金2／3 震災復興特別交付金1／3

*ほとんどが国の補助金事業

2. 敷地面積＝5万m²（震災前と同規模）

3. 中央棟はキッチンスタジオ等で魚食普及を目指し、子どもたちに魚を身近に感じて欲しい。

4. マグロは冷凍ではなく生鮮マグロを取り扱っている。

5. 水揚げ高は107億円と高いが、取扱数量は22tと低い。
マグロの高値が影響している。

6. 市場の運営は市の直営（特別会計）だが、将来は民間委託も

《 青森県五所川原市 》

◎視察日～10月30日（火）午前9時00分～10時30分

◎応対・説明者～五所川原市議会

五所川原市財政部企画課課長

鎌田 寿

五所川原市議会事務局主任

松本 裕也

《五所川原市の概要》

1. 位置・地勢

・当市は、津軽平野のほぼ中央に位置する旧五所川原市及び旧金木町と旧市浦村の3市町村が合併し平成17年3月28日に誕生。

・気候は年平均気温が約10℃前後で典型的な日本海型気候で、夏は比較的温暖であるが、冬期間は強い北西季節風と除雪が特色で、時折、地吹雪が発生し、冬期間における地域住民の生活に影響を及ぼしている。

・津軽三味線発祥の地。作家太宰治の生家「斜陽館」等の歴史文化資源を擁し、農林水産業を基幹産業とする豊かな自然に恵まれた田園都市である。

・人口は、55,277人（合併当初は、64,000人）

【市民提案型事業について】

1. 事業概要

①制度概要～市民団体の活動を支援する補助金制度

②目指す効果～市民協働のまちづくりの推進

・多様なまちづくり主体の掘り起こし

③「制度」（2つの補助メニュー）

1) はじめの一步型～設立当初の団体に比較的小規模事業で

主体の掘り起こしやきっかけづくりを。

- 2) テーマ設定型～総合戦略の政策柱と合致した大規模事業で喫緊の地域課題やより公益的立場を共有。

④「運用」（課題を明確に）

- 1) 申請書作成の段階で課題を明確にする。

課題発見で止まってしまう団体が多いため、申請書の段階で自分の活動整理を行う。

⑤「審査」（ブラッシュアップ）

- 1) 審査委員会によるブラッシュアップ。

審査委員は市内で活躍する人で、審査はアドバイス色を強くしブラッシュアップする。

⑥事業詳細

- 1) 毎年予算は600万円程度で、報償費、旅費、印刷製本費、委託料等の費用に。

- 2) 補助金について 「はじめの一步型」 「テーマ設定型」

補助率	4 / 5	2 / 3
補助金限度額	50万円	100万円
制限	1回のみ	1回/年度

⑦年間スケジュール

- | | |
|----|--------------------|
| 1月 | 広報HPでお知らせ&事業説明会 |
| 2月 | 相談受付及び市企画課へ資料提出 |
| 3月 | 事務局で書類審査 |
| 4月 | 審査会開催。審査結果通知。事業実施。 |
| 2月 | 成果報告 |

【所感】

市民団体の活動を支援する補助金制度で「はじめの一步型」と「テ

「テーマ設定型」の2つの補助メニューが特徴。これまでの事業改善で、①テーマ選定型は複数年度活動による成果が期待できる事業があったため年数制限を撤廃した。②初期費用の捻出が課題となったため8割を上限に補助金の概算払い制度を追加したとの事で、PDCAサイクルを回して運用されていると感じた。テーマ設定型のテーマも「地域で支えるこども・子育て支援」「平均寿命アップ！地域の元気・健康づくり支援」等、年度毎にテーマを掲げ活動の取り組みやすさを感じ非常に参考になった。

《 宮城県塩釜市 》

◎視察日～10月31日（水）午前9時00分～10時30分

◎対応・説明者～塩釜市議会

塩釜市産業環境部振興課

魚市場管理事務所所長

森 収

塩釜市議会事務局長

鈴木 康則

《塩釜市魚市場の概要》

○東日本大震災で被害を受けた魚市場。

○平成25年度から建て替え工事を進め、これまでに荷さばき所の東棟、魚食普及スタジオなどが入る中央棟、南棟が完成し順次供用を開始。

○平成27年10月25日に「塩釜市魚市場」が完成。安心、安全な魚を提供するだけでなく、市民や観光客が気軽に足を運べる施設となる。

○以下、事業説明メモ

1. 事業費用は、復興交付金＝121億円

内訳、水産庁補助金2／3 震災復興特別交付金1／3

*ほとんどが国の補助金事業

2. 敷地面積＝5万m²（震災前と同規模）

3. 中央棟はキッチンスタジオ等で魚食普及を目指し、子どもたちに魚を身近に感じて欲しい。

4. マグロは冷凍ではなく生鮮マグロを取り扱っている。

5. 水揚げ高は107億円と高いが、取扱数量は22tと低い。
マグロの高値が影響している。

6. 市場の運営は市の直営（特別会計）だが、将来は民間委託も

検討し、収益事業にしたい。

現は、5 / 1000 事業収入として市に入る。

7. 魚市場に環境水産課の事務所あり（議論している）

【所感】

事業費用は、復興交付金＝121億円で、その内訳は、水産庁補助金2 / 3 震災復興特別交付金1 / 3 とのこと。東日本大震災後1ヶ月で水揚げを再開し大きなダメージを受けたが、ある意味復興のシンボルとして再出発されている。生鮮マグロを取り扱いその有利な点を巧みに取り入れ事業としても成功されていると感じた。地域性を生かした特色ある産業に特化することは大事で成功への秘訣であるとも感じた。

以上

周南市議会公明党 会派視察報告書

報告者 遠藤伸一

H30.10/29～10/31

とき 平成30年10月29日(月)午前9時00分～

ところ 八戸市ポータルミュージアム「はっち」

【調査事項】 八戸ポータルミュージアムについて

【所感】

中心市街地の空洞化や商業機能の低下が懸念されるなかにおいて、中心市街地を八戸の「顔」にふさわしい、人々が集い賑わいのあふれる空間に再生するために(仮称)八戸市中心市街地地域観光交流施設として整備をはじめられた。平成17年5月に施設整備の提案があり、素案から実施設計、国の認可を受けた「中心市街地活性化基本計画策定」に至る様々な経緯を経て、平成23年2月11日に八戸ポータルミュージアム「はっち」が開館。翌、平成24年5月には来館者数100万人を突破し、平成29年7月現在で600万人の達成している。当初の計画での来館者数は65万人だったが年平均90万人もの来館を続けており、注目を集めている。用地・調査設計・工事費合計で4,136,906千円。施設は市の直営で9時から21時まで開館しており正職員11名、嘱託10名、臨時3名の24名体制で運営。歳入は施設利用に関する使用料が主なもので、歳出は維持管理費やイベント企画・運営費となっている。歳入2,630万円に対し、歳出が2億8512万円で一般財源から2億4094万円を充当している。

当該施設の来館者が増えるに従い、中心市街地の通行量も増えてはいるが周辺の商店街の賑わいや、回遊性の増の起因となっているかどうかまではデータでの確認はできなかった。民間活力を活用し歳出削減を目指すならば、将来的に指定管理者制度を導入の検討も必要な議論の一つである。そういったことも踏まえ、中心市街地及び市全体の活性化を目的とする施設として、使用料を高く設定したり、イベント等の事業費の抑制を優先するのではなく市民や市外からの来館者が利用しやすい環境づくりに努めることは本市と同様の課題である。

周南市議会公明党 会派視察報告書

報告者 遠藤伸一

H30.10/29～10/31

とき 平成30年10月30日(火) 午前9時00分～

ところ 五所川原市役所

【調査事項】 市民提案型事業について

【所感】

総合計画に掲げる基本政策「共にすすめる持続可能なまちづくり」に基づき、市民や各種団体、事業者、行政がパートナーシップを構築し、それぞれの役割を担い、地域の活性化や課題解決に取り組んでいく「市民協働」という考え方をまちづくりの重要な指針として位置付けている。

市民提案型事業は、平成22年度から「市民協働」という考え方のもと複雑化、多様化する地域課題を解決するために、市民団体等が行う公益性のある地域活動を支援し、地域の活性化と市民協働のまちづくりを推進するための制度であり、これまで76事業を採択している。「はじめの一步型」「テーマ設定型」の2種類があり、予算は約600万円で、年間約10事業程申請がある。「はじめの一步型」は公益的活動をこれから始める団体等に補助率4/5・限度額50万円まで・補助金の交付は1年度あたり1団体につき1事業まで・同一団体につき1回となっている。「テーマ設定型」は行政テーマに基づき総合戦略の政策と合致した事業を行う団体に補助率2/3・限度額100万円まで・補助金の交付は1年度あたり1団体につき1事業までとなっている。

団体活動の初期費用の捻出が課題となっており、補助決定額の8割を上限に補助金の概算払制度を加えている。また複数年の活動による事業成果がみられるものもあるが、自主財源がなければ事業の継続は困難である。それに対して市の方針では100%の補助はしない考えであった。イニシャルコストは行政、ランニングコストは市民団体が賄う現体制がよいのかどうか、検討の余地はあると思う。今後、高齢者福祉・介護事業などの分野を担える市民団体の掘り起こし、行政の枠組みを超えた事業の推進について、新たな包括的施策の議論の展開が必要である。

周南市議会公明党 会派視察報告書

報告者 遠藤伸一

H30.10/29～10/31

とき 平成30年10月31日（水）午前9時00分～

ところ 塩竈市魚市場

【調査事項】 魚市場の整備、運営について

【所感】

東日本大震災で被害を受け平成25年から建て替え工事を進め、平成27年4月に「塩竈魚市場」東棟、次いで平成28年8月に中央棟が、平成29年10月に南棟の2期工事が竣工。敷地面積5,064,755㎡で総事業費12,100,000千円。全国にある漁港のうち水産業の振興のために特に重要な漁港とされている特定第3種漁港13港のうちの1つに数えられ水産物の流通の拠点として重要な役割を果たしている。荷捌き施設、管理室、水産加工処理場、魚食普及スタジオ、食堂、見学説明室などを完備。

平成29年次の水揚げ高は10,735,654千円。魚種別水揚げ高はマグロ、サバ、キンメダイなどが主なものである。秋口から初冬にかけてマグロはえ縄漁船によって水揚げされる生鮮メバチマグロは「三陸塩竈ひがしもの」としてブランディング化され全国的に認知されている。

子どもの魚離れを防ぐための料理教室やパネル展示など様々な工夫があった。塩竈と本市とは施設・水揚げ高・また特定第3種漁港であるなど規模の違いがあり一概に比較はできないところであるが、水産物のブランディング化の取り組みについては戦略的に周知を図ることが必要と感じた。とともに本市の漁業全体に対する考え方、将来の方向性などについて改めて考える大変よい機会になった。みなと全体の役割、中心駅裏にすぐ海があるという地理的に有利な資源をいかに有効活用できるか、さらに調査研究し提案できるよう努めたい。

① 日時) H30. 10. 29 (月) 9時～11時

場所) 八戸ポータルミュージアム

視察項目) 八戸ポータルミュージアムについて

【内容・所感】

八戸ポータルミュージアム「はっち」は、中心市街地の活性化のため、平成 23 年に開館され、平成 29 年 7 月には 600 万人達成するなど、多くの賑わいを創出している。観光地でもあるため観光交流施設の役割であったり、子どもの遊び場であったりと、市内外からの人を呼び込む施設となっている。ただ、隣接する商店街や商業施設での売り上げ増にはなかなか繋がっていないとのこと。周南市においても、徳山駅前、中心商店街の再開発など整備事業が進んでいくが、賑わいを作り、それが中心商店街の活性化に直接つながるよう取り組む必要があると感じた。

② 日時) H30.10. 30 (火) 9時～11時

場所) 五所川原市役所

視察項目) 市民提案型事業について

【内容・所感】

この事業は、「市民協働」という考えのもと多様化する地域課題解決のための事業である。事業には、「はじめの一步型」と「テーマ設定型」の 2 種類あり、市民団体の立ち上げに「はじめの一步型」が活用できることは、参考にできる取り組みと感じた。事業の継続活動には、自主財源の確保が重要な課題であり、複数年事業を継続するのは困難なところが多いのが現状とのこと。市民団体等の事業が継続的に続けられるよう、資金面だけでなく他の支援、施策も検討していく必要があると感じた。

金子 優子

- ③ 日時) H30.10.31 (水) 9時～11時
場所) 塩竈魚市場
視察項目) 魚市場の整備、運営について

【内容・所感】

東日本大震災で大きな被害を受け、121億円をかけて建て替えがされた。
東北でもマグロの水揚げ高で有数の魚市場であるので、本市と比較することは
難しいが、魚食普及へのスペース、スタジオがあり、そのような取り組みは参
考とすべきである。本市の魚市場も老朽化しており、周南市産のふぐ、はも、
たこを全国へ広めるため、また市内外から魚市場へ来たくなるような施設を検
討していくべきと感じた。